

冬の北八ヶ岳スノーシューハイクと北横岳

(報告) Fuka

◎山行期日：2018年2月6日(火)～7日(水)

◎メンバー：Tsuka (L)、Oka、Nka、Nishi、Hagi、Fuka

2月6日(火) 晴天時々曇天

7時30分、「高尾山口」集合。車は日産エルグランデ。6人でゆったりと乗ります。

参加メンバーはOさん80歳、両Nさん78歳、Hさん80歳、Tさん75歳、F64歳とシリウス最強高齢グループです。皆さん、昔取った杵塚で饗饌としています。

11時30分、Nakaさんの山荘「山花開」(さんかかい)着。鹿が二頭、山荘の前で休んでいます。ここは鹿の天国らしいです。禁猟区なので捕れないそうです。捕ったら美味そうです。地元のスーパーでは鹿肉を売っているそうです。

12時30分、車山(1925m)前の駐車場に車を止めます。私たちの車一台のみ。スノーシューハイクの準備をします。ガボッチョ山(1681m)は雪が少ないので、その東側のカシガリ山(1616m)を目指します。なだらかな草原のような道を歩きます。積雪は40～50cmでスノーシューが良く効きます。中央に富士山がよく見えます。左側の八ヶ岳方面は雲がかかっています。右側の南アルプスは甲斐駒が雪に輝いています。贅沢な空間です。1時間30分ほど歩きますが、カシガリ山までは到達できず途中で引き返します。



(山荘の前に鹿2頭)

それにしても八ヶ岳は不思議な山名が幾つもあります「ニュー」「ガボッチョ山」「カシガリ山」など。アイヌの山名なのでしょうか。御存知の方教えて下さい。

15時、駐車場着。2時間30分のハイキングでした。16時、「山花開」着。車中で少し休んでいる間にNakaさんが部屋を暖めてくださいます。山荘の中は冷凍庫のようなので温めるのに少し時間がかかるそうです。部屋の中は30年間使っているとは思えないほど綺麗です。素晴らしい。



(カシガリ山スノーシューハイク)

17時、NishiさんHagiさんOkaさんの差し入れのおつまみを頂きながら「菊水」「真澄」を飲みます。メインは「キムチ鍋」。美味し。ホットカーペットが暖かい。ストーブも効いて、スリーシーズンのスリーピングバッグでも汗をかくほど良く眠れました。感謝です。

2月7日(水) 曇天時々晴天

7時、BF。昨夜の「キムチ鍋」に餛飩を入れて頂きます。8時、荷物を小屋に置き、トレッキング道具を車に積んで出かけます。外は-12℃。

9時の北八ヶ岳ロープウェイに乗ります。この冬は雪が少ないそうです。しかし寒い。私と Naka さんは北横岳（2472m）に登ります。他の皆さんは五辻までスノーシューハイクです。20年ほど前に、五辻から麦草峠までスキーで歩いたことを思い出しました。すばらしい展望の道でした。今回はどうだったのでしょうか。

北横岳への道はバージンスノーでした。私たちの前に人が歩いていない。贅沢です。豪華です。気分よし。雪は50～60cmで締まっています。アイゼンが良く効きます。

10時20分、山頂。風が凄い。登山者は私たちの他に1人。晴れたら西北方向に蓼科山が見えるはずですが全く見えません。残念ですが写真を撮り、早々に下ります。樹林帯に入ると風は止み暖かい。雪を被った北八ヶ岳の原生林は素晴らしいです。北横岳ヒュッテは閉まっていた。その先の展望が美しかったです。大岳（2382m）や雨池山（2325m）が雪の樹林帯の中からふわっと頭を突き出しています。

時々青空が見えると、白と青のコントラストで原生林が輝きます。Naka さんによると「北八ヶ岳は3月が一番美しい」そうです。「雪も多く、静かで素晴らしい」そうです。私も3月の「双子池」「亀甲池」「七つ池」などを繋いで歩いてみたくなりました。



（雪の原生林）



（大岳の展望）

11時30分にロープウェイ駅着。ここで休憩。

骨密度を上げると「免疫力」や「活性化細胞」が強くなるという研究結果があり、そのためには歩行が一番だという話で盛り上がりました。13時、皆さんと合流。Naka さんの山荘に行き荷物を持ち帰宅しました。

Naka さんの山荘「山花開」は素晴らしく、Tsuka さんの安全運転も完璧でした。無事帰宅出来ました。参加された皆さんに感謝です。また冬の北八ヶ岳を歩いてみたいです。

<記録>

2月6日（火）車山の駐車場12:30～カシガリ山～車山の駐車場15:00

2月7日（水）北八ヶ岳ロープウェイ9:10～北横岳10:20～北八ヶ岳ロープウェイ11:30